

〈令和2年度〉ミライカナエル活動サポート事業 ステップアップ支援コース

団体名	湘南市民ワークショップ
事業名	市民活動オンライン化～WS・ライブ配信
補助金額	440,000円
事業の目的	
<p>様々なジャンルの講師がいる当団体がオンラインシステムを構築する事で、コロナに影響されずにワークショップやイベントを提供し、市民の心身の健康向上や、生涯学習・多世代の交流の機会作りに貢献したいです。また、コロナ前とは違う視点で人と繋がり、オンラインならではの新しいアイデアを実現し、将来的にはリアル活動に繋がりたい。</p>	
事業の内容と成果・効果	
<ul style="list-style-type: none"> • Zoomによる団体定例ミーティングを実施しました。 • IT等の講座を受講しました。 • 「浜辺の歌サンバ2020人で踊ろう！」企画で、リアルとオンラインを組み合わせ、楽器演奏、ダンス、フープダンス、アーティストックスイミング（旧シンクロナイズスイミング）のワークショップや成果発表を行い、プロモーションビデオ撮影も実施しました。 2020年11月：Zoomとリアルを組み合わせで開催（4回）。YouTubeライブで成果発表。 2021年2月：Zoomとリアルを組み合わせで開催（3回）。 2021年3月：Zoomとリアルを組み合わせで開催（2回）。福島いわきと湘南との交流オンラインイベントとして、ZoomワークショップやYouTubeライブ配信を実施。 2021年5月：Zoomとリアルを組み合わせで練習（3回）。プロモーションビデオを作成、公開。 <p>〈成果・効果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> • 団体メンバーがZoom、エクセルやワード、クラウドファンディング、動画・HP制作などの講座を受け、団体の運営や活動のオンライン化が少しずつ実現できました。オンラインイベントでは専門家にライブ配信や音響を依頼すると同時に操作も学び、段々と自分達でできる部分も増えてきました。 • コロナが収束せず、ワークショップやプロモーションビデオ撮影の実施も危ぶまれましたが、オンライン化の取り組みにより、活動を継続できました。Zoomで繋がり楽しめたと参加者にも好評でした。一方で、リアルワークショップは消毒や定員半減などの感染防止対策を行った上で、実施しました。音楽やダンスなどをリアル体験できる事も、参加者にとっては大きな喜びとなったようです。リアルとオンライン、それぞれ要望がある事が分かり、どちらにも応える事ができました。 • Zoomを使うことで、福島郡山にある障がい者施設など、距離を超えたコラボレーションも実現。 • コロナ禍によりプロモーションビデオは、大人数で撮影することは困難となりましたが、代わりに少人数でもプロモーションビデオを沢山作り、Zoomでの成果発表アーカイブもYouTubeに公開しました。 	
	
<p>(写真上) 市内各所でチラシを配布</p>	
事業を実施しての課題	
<ul style="list-style-type: none"> • オンラインでのワークショップには慣れてきましたが、成果発表をしながらのYouTubeライブ配信は、プロの力が必要。とはいえ、今後も団体メンバーだけで実現できないか、試行錯誤していきたいです。 • 会場のWiFi設備など、オンラインの活動がどこでも出来る状況ではなく、難しさを痛感しています。 • Zoomでの参加は、まだまだハードルが高いようです。どのように働きかければよいか、工夫したい。 	